

「文化庁を祝う市民の会」講演と鼎談会 開催案内

京都府庁旧本館旧議場（重要文化財） 一観桜祭事業 参加行事

4月9日（日） 15時～17時

文化庁が、3月27日（月）に、京都で業務を開始します。

これまで文化庁移転の周知活動に取り組んできた組織が再編され、連携に軸足を置いて、京都府知事・京都市長・京都商工会議所会頭を共同代表に、「文化庁連携プラットフォーム」が、3月20日に、19の団体・企業が参加して発足しました。

文化庁の京都移転を市民の立場から祝い、今後の文化事業で地元と連携の取り組みを進めていく体制を築くことを目的に、「文化庁を祝う市民の会」（代表：金井萬造、文化政策・まちづくり大学校・略称市民大学院の有志で結成）は、講演と鼎談会を開催することになりました。

佐々木雅幸先生（大阪市立大学名誉教授）から、文化庁の京都移転の取り組みに関係されてきた経過と今後の文化庁の展開について講演をいただきます。

池上惇先生（京都大学名誉教授）から、文化資源を活かした地域創生の取り組みの在り方と今後の文化庁との連携について、京都地域での取り組み課題などについてお話をいただきます。

池上惇先生、佐々木雅幸先生に小澤司先生（文化庁 地域文化創生本部への出向経験者）を交えて、岩田均先生の司会で、鼎談、意見交換をおこないます。

総合司会は金井萬造が担当します。会場からの質問に応える予定です。

参加予約は不要です。皆様のご参加をお願いします。

時間配分（予定）：

総合司会：会議の趣旨説明

佐々木雅幸先生講演：35分

池上惇先生講演：35分

鼎談：30分（小澤司先生を交えて、進行役：岩田均先生）

会場との質疑応答：15分

総合司会：まとめ

会場対応：京都府 府有資産活用課

主催：京都府・府庁旧本館利活用応援ネット（代表：金井萬造）

観桜祭参加事業として実施します。